

# なんじゃもんじゃ

第 20 号

平成 23 年 1 月 1 日

発行責任者：管理者 細江 雅彦

編集：市立恵那病院広報委員会

<http://www.enahp.enat.jp/>

E-mail:enahosp@enat.org

## 地域医療実践のための 仲間作りを！

明けましておめでとうございます。昨年、標準的な病院であるかどうかを評価していただける病院機能評価を受審し合格いたしました。これもひとえに恵那市行政のご理解とこの地域住民の皆様のご理解とご支援の賜物と思っております。市立恵那病院も8年目を迎えますが、今後ともどうかよろしくお願いします。



市立恵那病院  
管理者 細江雅彦

さて、年頭の挨拶としてこの地域が活力に満ちあふれているという様子を紹介させていただきます。

私は恵那へ来て8年目を迎えています。今、やっと地域作り

に参画できているのかなという実感を持っています。この2年間、恵那市は認知症の方を地域で見て行くというスローガンのもと、住民への知識の普及活動を行ってきました。そして現在、医師会と連携して予防教育から相談窓口の設定へと活動は移り、医療人ならびに住民の認知症への対応能力向上が図られています。超高齢社会を迎えたこの地域の住民が安心して地域で暮らせる日がきつと来るものと確信していますが、この活動をする中で私は多くの医療人、福祉関係者、市民、行政の方々を知り合うことができ、医師人生30年で初めて真の地域医療に従事できているのではと感じています。

### 「基本理念」

私たちは、地域住民のために、医療倫理を守り、質の高い、信頼される、思いやりあふれる医療を展開いたします。

### 「基本方針」

- 一、患者様の権利を尊重し、患者様中心のチーム医療を展開いたします。
- 二、質の高い医療を提供できるように研鑽に努め地域包括医療に貢献いたします。
- 三、地域住民に安心され、永く親しまれ、信頼される病院を目指します。

ことの始まりは、一昨年夏、名古屋での認知症の研修会で多くの方々を知り会えたことです。もう一度集まってそれぞれが現在行っていることを発表し合い、協力できる場所があれば一緒に協力し、支援できる場所があれば協力する、という話合いを繰り返してみませんか、と呼びかけたことから始まりました。認知症に対して非常に関心が高い地域だなどは思っていたのですが、多職種の方々が、仕事を終えてから恵那病院に集まり、夜遅くまで熱気あふれる話し合いをしました。最初はまとまりの無い話し合

って話しているうちに、それぞれの役割分担がわかってきてそれぞれがやっていることが結びつき合ってきたのです。この会は全員参加型の会で一人強力なリーダーが居て引張って行くという形ではありませんでした。でも今思うと自由な意見交換がとても大切なことだったのだなと思っております。ある時、病院を受診して認知症と診断された方々のご家族の悩みなどを聞く会を院内の喫茶店で開いたら良いのではないかな？という話から、結果、今、病院内で患者家族会を開くことができるようになり、結果、今、病院内で患者家族会を開くことができるようとか開催することに漕ぎ着けました。病院スタッフだけで開催するのではなく、集まった関係者でこの会を運営しています。普通では考えられないことと思っております。病院も地域作り

参画しているのだなと今、思っています。こう言った連携はその他の疾病の予防や治療、介護へも応用できるものと考えており、今後、地域包括医療を構築して行く上での基礎となり、推進役になり得ると思っております。昨今、病院医療の崩壊が叫ばれています。これは地域へ大学から赴任する医師が居ないということからこの崩壊が始まっている訳ですが、その崩壊した地域医療の再生には、なんとと言っても医師の確保にあります。しかしその医師確保策はと言うと、はつきり言っても名案は無いと思えます。が、名案があると言えれば、私は、それはその地域で育まれている地域包括医療の魅力を語るしか無いのではと思っております。このような活動ができれば魅力ある地域力となり、魅力ある恵那市へと変わって行くのではないのでしょうか。これからこのような活動を続けて行けたらと思っております。

地域医療の魅力は、地域全体で共通の認識を持って動いている、これが魅力です。地域医療は再生できます。地域医療の重要性は崩れてみて初めて認識できたようですが、再生したものは地域全体が支えているものであるので基盤のしっかりしたものになると思えます。恵那市の住民と行政と医療・福祉人の協働作業によってなされるものと信じています。今年はこのような活動を内外に発信して行き、多くの有能な人財を集めて行きたいと考えています。皆さん、一緒に地域医療を実践しましょう。いけばこれは仲間作りの作業です。本年もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



# 糖尿病支援委員会の活動報告

当院では糖尿病支援委員会の活動として、糖尿病教室の開催や患者支援組織であるあゆみの会の事務局を設置しております。

本年度の糖尿病教室では年7回開催し、患者様の症状がひどくならないよう医師(内科・眼科)・薬剤師・臨床検査技師・管理栄養士・看護師がそれぞれの講師を担当しております。

今年度は左記の内容で開催しました。糖尿病教室の開催のお知らせは、中央窓口にあります。多くの方の参加をお待ちしております。



糖尿病教室開催



糖尿病患者食

- 平成22年度 糖尿病教室活動
- 1回目 糖尿病について  
講師 内科総合診療医師 高橋
  - 2回目 糖尿病で目が見えなくなるってホント？  
講師 眼科科長 水野
  - 3回目 切断とフットケア  
講師 理学療法士
  - 4回目 お薬の話～飲み薬とインスリン～  
講師 薬剤師
  - 5回目 糖尿病食を食べてみませんか？  
講師 管理栄養士
  - 6回目 血糖自己測定について  
講師 臨床検査技師
  - 7回目 あなたのなやみをすべて受けます。  
～脚も診させていただきます～  
講師 看護師

また、糖尿病患者の会として「あゆみの会」を設置しております。本年度の事業内容としては、6月に日本糖尿病協会岐阜支部総会への参加、10月に蒲郡へのウォーキング、そして3月には定期総会を予定しております。

是非、あゆみの会に入会しませんか？詳しい内容は下記をご覧ください。

## あゆみの会

どなたでも入会できます

目的：糖尿病の治療並びに予防に関する知識の普及と向上を図り、合わせて会員（患者様）相互の親睦及び福祉の増進を図ることを目的としています。

会費：三千元（年会費）

但し、年度途中の脱退による返金及び年度途中の入会による減額はありませぬ。

特典1・・・(社)日本糖尿病学会より発刊される「月刊「糖尿病ライフ さかえ」」が、毎月お手元に郵送されます。

内容は、糖尿病療養の最新情報、食事療法を活用したクッキングレシピ、療養生活のちょっとしたコツ、患者様の体験談を掲載した糖尿病専門雑誌です。

特典2・・・あゆみの会で毎月開催されるウォーキングの案内や、市立恵那病院で開催する糖尿病教室の案内を郵送させていただきます。入会をご希望される方は、市立恵那病院の医事課あゆみの会事務局及び医療相談員にご相談ください。

電話 0573-126-12121(代表) 内線 250(あゆみの会事務局宛)



平成22年度  
ウォーキング風景



# クリスマスコンサート

当院では、毎年クリスマスコンサートを開催しています。昨年は、新型インフルエンザの流行で開催できませんでしたが、本年度は、12月4日(土)に開催しました。

小児科の服部医師一家によるピアノコンサートで、懐かしい曲からクラシックの演奏、そしてクリスマスソングを新人看護師5名が合唱しました。入院中の患者様・ご家族の方など70名の来訪者は日常を忘れ、ピアノの優しい音色と独唱・合唱で素敵な1時間を過ごしました。

来年度は入院患者様だけでなく、一般の方の来訪もお待ちしております。



- ♪曲 目♪
- ピアノ演奏 瀬戸の花嫁 あずさ2号
  - ピアノ演奏 雪の降る町を
  - 独唱 四季の歌
  - ピアノ演奏 青い山脈
  - 独唱 荒城の月
  - ピアノ演奏 北の宿から
  - ピアノ演奏 高校三年生
  - かあさんの歌
  - 子犬のワルツ(シヨパン)
  - 最初から今まで(冬のソナタ)
  - サンタが町にやってきました
  - (リチャードクレイターマン編曲)
- 全員で合唱+恵那病院合唱団  
ジングルベル  
きよしこの夜



## また看護師として働きたい！ そんなあなたを応援します。

ブランクがあつて、なかなか一歩が踏み出せない、最近の臨床現場がよくわからない、そんな潜在看護師の皆様にもお役に立てばとの思いでセミナーを開催しております。

十一月二十九日(月)今年度第3回目の再就職支援セミナーを開催致しました。昨年度から年3回ずつ開催し、受講者の中から既に7名の看護師が当院で働いています。今回の新聞折り込み広告からは問合せが6件あり、30代の看護師3名から応募がありました。参加者の皆さんの目は生き生きと輝いていました。

### 《参加者の声》

ブランクがありとても不安でしたが少し身近に思えました

病院の雰囲気がよく分かり先輩達の話もたくさん聞けてよかった

子供を持ちながら両立できるかどうか不安

条件が合えば近いうちに働きたいと思っています

チームで看護していて働きやすい環境だなと思いました



いろいろ率直なご意見が聞かれました。今後1人でも多くの潜在看護師に再就職していただけるようなセミナーにしていきたいと思ひます。

副病院長兼看護部長 大野たみ子

### 看護師募集のお知らせ

職種…看護師(若干名)

休日…日曜日、土曜日、祝日を含めて月7.5日以上

有給休暇…最大年間20日(採用月により変動します)

特別休暇…年末年始、リフレッシュ休暇、産前産後休暇、忌引等

※臨時職員(日勤勤務者)看護師も募集しています。左記までご連絡下さい。  
市立恵那病院 電話…057312612121(担当 大野・渡部)